

おお大勝利

平成 29 年度山東サッカー一部報第 6 号 (5 月 30 日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

県総体 初戦2回戦薄氷踏む勝利

5 月 27 日 (土)、28 日 (日) 南東北 IH¹の県予選である県高校総体の第 1 ラウンドが行われました。シード校と地区予選を勝ち抜いた 24 チームが参加。山東は第 7 シード校として 1 回戦はシード。2 回戦を、28 日鶴岡東と上山明新館の勝者と戦う。村山地区予選を観るに、明新館が非常に頑張るチームであり、S 原前監督²の熱い指導を受け継いだ F 水先生がさらに熱く選手と関わっており、素晴らしいチーム作りされてらっしゃることはよく伝わりましたが、Y2A でも 3 勝 1 分けで暫定 2 位³、しかも **庄内地区予選では Y1 の羽黒を破り 1 位で通過した鶴岡東**が有利なのは、否めないところ。その初戦は、明新館の頑張りに前半手を焼きましたが、後半は盤石の試合運びで順当に鶴東が勝ち上がる。

ということで、山東の初戦 2 回戦の対戦相手は鶴岡東。**昨年もこの 2 回戦で当たっている相手であり、遺恨があるという意味ではないのですが因縁の相手**。そうなんです。他校を見渡しても、県総体や選手権でやたらと「よく当たる対戦」があります。昨年までは山東は明正と本当によく当たる因縁の仲でしたが、「まあ来年はないべ」との I 原明正高校監督⁴の予言通り、今回山東と明正は逆の山。さておき、鶴東はリーグ戦ではテンポ良くパスをつなぐが、地区大会ではかなり縦に速いダイレクトな攻撃を行っていたとの情報あり。1 回戦を観るに、**鶴東ボランキの冷静さと展開力**がその両方の戦い方を可能にしていると感じた。

さあ山東どう戦うか。一応選手には金曜日に、「2 回戦の相手はまず間違いなく鶴東になるだろうが、鶴東が負ける可能性もちょっとだけある。ただそこで、われわれが鶴東の負けを期待するようだと、悪いあやが残る。それではダメ。『鶴東来い』との強気で土曜日の結果を待て。」と指示。相手は、昨年県総体で山東に敗れた悔しい気持ちを晴らすべく、必勝を期して来るのに、こちらが他力を当てにしているようでは話にならない。果たして、相手は鶴東。そして相手とは無関係に、**山東は Y1 で前半好調、後半絶不調の試合展開を繰り返している**ので、この 1 週間でその修正に少しだけ取り組んだ。この 2 回戦、最後まで攻勢と集中を切らさず戦い抜き、勝ちたい。

当日、風はそこそこあるものの気温は高くなく、ピッチは東根の人工芝ピッチと、最高。山東は 5/17 にこの会場で練習もしており、準備は万全。**清野総監督 (後援会名誉会長)、工藤先輩、後藤報道局長のいつもの御三方**は、いつも通りいらっしゃる。県サッカー協会の専

¹ サッカー競技は宮城県開催。男子 1 回戦 7/29～決勝 8/4、女子 1 回戦 7/31～決勝 8/4。

² 3 年タイセーのパパ。現在東桜学館高校サッカー一部顧問。

³ 対する明新館は Y3 在籍です。

⁴ 3 年ベジのパパ。

務理事もなさっている**岸後援会会長**もお越しになった。そして、**志村顧問、齋藤 GK コーチ、高橋コーチ、志田トレーナー**も揃った。おまけに、6月は山形に滞在するという**名和前トレーナー**も応援に来て下さった。オールキャスト揃い踏みじゃないですか。また、試合前には、コウタ（山東第65回卒）の母と妹も「すぐ近くに住んでるですよ～」と挨拶に来てくれた。妹さん、大きくなったね！ 若手 OB は、**大築・マサ（62回卒）、old ヨーティ（65回卒）、シャモジ（66回卒）、ワタコー・シュン・ユート（67回卒）**とこれまた大勢。**保護者は、これまでで一番というくらい数**が集まっている。おまけに**山東応援団千ア**のメンバーも応援に来てくれて、黄色い声援で選手を励ます。

試合が始まると、一進一退ながら、山東サイドのピッチでの展開が多い。前半の入り、とにかく相手サイドのピッチで試合をしようと呼びかけ、ダイレクトな攻撃を徹底するよう指示していましたが、DFのパスは指示通り DF ライン裏、しかし FW が下りて足元でボールを要求と、山東ちくはぐ。しかし、中途半端な前半の入りを過ぎた 10 分過ぎでしょうか、前線でパスを数回つないだ後、左に流れた **3 年ベジ**にボールが渡ると、相手 DF と対峙したベジ、コントロールミス⁵。しかし、ベジ、うまくごまかして縦に仕掛け、ゴールライン手前で切り返した瞬間、**右足で角度のないところから逆サイドネットに吸い込まれるファイニッシュを突き刺し、山東先制**。タカヒラ、ベジ、キクチャンの連携でようやく山東の攻撃が温まってきた矢先の、うれしい先制弾となった。そして、再び一進一退になりかけた頃に、前線からのディフェンスでボールを奪った山東がショートカウンター一閃。キックスキルはあるものの勝負弱かった **3 年アダチ**が独走から冷静にニアポストギリギリに流し込み、**前半の中盤で 2 点リード**。対する鶴東は徹底的にロングボールとロングスローで上背のない山東の DF・GK にプレッシャーをかけてくるが、その攻撃を山東何とか凌ぎ、前半終了。

後半、入りは悪くない。後半の前半、タカヒラが GK と 1 対 1 になるも低いシュートを打ち切れずヘボシュートを GK に当てたり、フトシがトラップして打つだけのボールをトラップミスして逃したり、誰が打ったか忘れましたがポストに当てるシュート打ったりと好機を逃し続けるも、鶴東の得点よりも山東の 3 点目の方に可能性を感じる展開。しかし、後半の後半を迎えたあたりから、鶴東の攻勢に厚みが増し、山東にとって苦しい時間が続く。しかも、山東、クリアするだけでカウンターを繰り出す元気も感じられない。早くも時間稼ぎ。**鶴東はロングスローを多用する作戦は続けるものの、山東の息切れを感じるや冷静なパスワークを見せ始め、守備で疲れ始めた山東をさらに追い込む。後半の鶴東のこの攻撃方法の変化が素晴らしかった！**「クリアは外へ」の原則が守られずゴール前の**クリアが繰り返す「中」に入り**、しかもクリアがショートし、ゴール前の攻防が続く中で、とうとう失点してしまう。**全く学習能力がない山東**。そして更に悪いことに、失点直後、再び大ピンチを招いてしまう。これは鶴東が外してくれたおかげで事なきを得ましたが、完全に失点シーンでした。**結局、何とか逃げ切り、2 対 1 の辛勝**。

正直、**後半もペースが落ちずに戦う中で勝利を得ることを目標にしていたので、勝つには勝ったがこの試合内容、大大大不満**。一応目標は県総体優勝。だったら、全国で戦うことを狙っているということになるが、これはそういう目標のチームのやっていい試合ではない。**ボクシングにたとえるなら、前半でダウンを奪ったものの後半はパッタリと勢いが止まり、**

⁵ コントロールミスしたように見えました。ベンチから遠かったので明らかではないものの、恐らくその見立て正しい。

相手の攻勢にクリンチの連続で時間稼ぎをし、前半奪ったポイントで辛くも判定勝利、といった内容。勝ち方があまりにも酷い。体力の問題なのか。戦術の問題なのか。または、メンタルの問題なのか。こんなサッカーをするために、冬季スキルアップを主眼とする練習をしてきたんじゃない。**チームの状態を立て直せないままの監督の手腕不足**を痛烈に感じる。

試合直後、そんな不甲斐ない監督を叱咤してか、第2試合のアップのボールが弁当を食べていた監督の顔面に不意打ちのクリーンヒット。5秒くらい何が起こったか、理解できませんでした。ということで、先日購入したばかりのメガネがまたバキッと折れ、5月2本目の破損。「ちゃんとやれ！」という叱咤激励と思い、次戦に備えます。

さて、**準々決勝の相手は、やはり第2シードの日大山形**。2回戦の山東の調子では、大敗も止む無し。攻守のセットプレー、後方の粘り、前線のアイディア・スキル・献身性、そしてゴール前における攻守の最後の質が勝負を分けるでしょう。Y1、地区総体ではいずれも引き分けの対決だった。決戦ですね。応援よろしくをお願いします。

6月2日(金) 県総体準々決勝 VS 日大山形 13:30~ @ 県総合運動広場(べにばなスポ-スパーク)内 サッカー場

勝つと

6月3日(土) 県総体準決勝 VS 山形城北と東海大山形の勝者 13:30~ @ 県総合運動広場(べにばなスポ-スパーク)内 サッカー場

勝つと

6月4日(日) 県総体決勝 VS 山形中央と寒河江と山形商業と羽黒の勝者 13:30~ @ 県総合運動広場(べにばなスポ-スパーク)内 サッカー場

3日負けると

6月4日(日) 県総体3位決定戦(東北大会出場校決定戦) 11:00~ @ 県総合運動広場(べにばなスポ-スパーク)内 サッカー場

応援の方の駐車は、南側の特設駐車場(第二運動広場の周辺)にして頂きますようお願いいたします。くれぐれも北側駐車場に停めないようご協力お願いいたします。北側駐車場は大会関係者の駐車スペースとなります。